

第26回雲南市水道事業に関する審議会 概要報告

1. と き：平成26年10月22日(水) 午後1時30分～午後2時25分

2. ところ：雲南市水道局1階会議室

3. 出席者

(審議会委員)

和泉利男 会長、高橋美智子 副会長、安部幸治 委員、渡部弘明 委員
 験馬重弘 委員、入澤広子 委員、西村忠明 委員、堀江貞男 委員 (委員8名)

(事務局)

藤井 勤 副市長
 稲田 剛 水道局長、岸野俊一 次長(総務課長)、飯島 昭 工務課長、土屋和則 営業課長、
 須田 弘 下水道課長、村重悦子 GL、高橋 歩 主幹 (事務局9人)

1. 開 会

欠席者の報告(加本恂二 委員、永井尚二 委員、太田明美 委員、江角一津江 委員・・・4人)
 雲南市水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しており会議
 が成立していることを報告。

2. あいさつ

(1)和泉利男 審議会会長

(2)藤井 勤 副市長

-----以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長-----

3. 審 議

(1)平成25年度水道事業会計、工業用水道事業会計、簡易水道特別会計決算概要・・・【総務課】

(2)平成26年度事業進捗状況・・・【工務課】

(3)収納状況・・・【営業課】

以上を事務局から報告しました。

それぞれの報告の後、質疑応答に入り委員の皆様から

- ・水道料金収益が昨年に比べ大幅に減少している要因
- ・今年度行われる住民アンケートの対象範囲
- ・住民アンケートと策定を進めている水道総合整備計画(新水道ビジョン)との関連
- ・老朽管更新事業の状況
- ・不納欠損処理の状況
- ・豪雨災害時の水道施設設備の対応状況

といった質問、ご意見をいただきました。

それに対し、事務局から

- ・収益減については、人口減少による一般家庭使用量の減少に加え、工場関係の使用量の大幅減によるもの。
- ・アンケート対象は給水区域内外を問わず市内全域を対象とするが、抽出により配布する。その結果は策定作業中の水道総合整備計画に活用していく。
- ・老朽管の更新は地元要望に早期にお応えできるよう進めていく。また、漏水調査を適時行い、有収率の向上に今後も努める。
- ・不納欠損は議会に報告し、承認を受け処理は終了している。
- ・機器等の被災に対しては、個別に具体的なものは整理されていない。対応についてはご意見を今後活かして、対応マニュアルなど考えていきたい。

と回答し、審議会を終了しました。